

表2-65 公共用水域の主要測定地点における全窒素・全りんの水質測定結果（23年度）
（単位：mg / L）

水 域 名	調 査 地 点 名	全 窒 素	全 り ん	
阿 尾 川	阿 尾 橋	0.66	0.045	
余 川	間 島 橋	0.38	0.038	
上 庄 川	北 の 橋	0.77	0.068	
仏 生 寺 川	八 幡 橋	3.6	0.27	
	湊 川	1.3	0.14	
小 矢 部 川	河 口	1.3	0.060	
	聖 人 橋	0.57	0.042	
	津 沢 大 橋	0.57	0.028	
	太 美 橋	0.50	0.011	
	千 保 川	地 子 木 橋	0.78	0.062
	祖 父 川	新 祖 父 川 橋	1.0	0.049
	山 田 川	福 野 橋	0.49	0.024
		二 ヶ 淵 え ん 堤	0.47	0.012
庄 川	新 庄 川 橋	0.44	0.017	
	大 門 大 橋	0.29	0.014	
	雄 神 橋	0.30	0.014	
	和 田 川	末 端	0.41	0.022
内 川	山 王 橋	1.1	0.058	
	西 橋	0.87	0.080	
下 条 川	稻 積 橋	1.5	0.081	
新 堀 川	白 石 橋	1.5	0.087	
西 部 主 幹 排 水 路	西 部 排 水 機 場	0.86	0.098	
東 部 主 幹 排 水 路	東 部 排 水 機 場	1.0	0.12	
神 通 川	萩 浦 橋	1.6	0.029	
	神 通 大 橋	0.71	0.025	
	有 沢 橋	0.48	0.022	
	成 子 大 橋	0.43	0.021	
	宮 川	新 国 境 橋	0.60	0.027
	高 原 川	新 猪 谷 橋	0.65	0.040
	い た ち 川	四 ツ 屋 橋	0.84	0.047
	松 川	桜 橋	0.78	0.044
富 岩 運 河	萩 浦 小 橋	0.90	0.049	
岩 瀬 運 河	岩 瀬 橋	1.7	0.040	
常 願 寺 川	今 川 橋	0.54	0.020	
	立 山 橋	0.31	0.011	
白 岩 川	東 西 橋	0.71	0.047	
	泉 正 橋	0.65	0.049	
	栃 津 川	流 観 橋	0.65	0.034
		寺 田 橋	0.55	0.020

水 域 名		調 査 地 点 名	全 窒 素	全 り ん
上	市 川	魚 躬 橋	0.65	0.028
中	川	落 合 橋	0.80	0.080
早	月 川	早 月 橋	0.54	0.006
角	川	角 川 橋	0.77	0.039
鴨	川	港 橋	0.68	0.043
片	貝 川	落 合 橋	0.95	0.059
	布 施 川	落 合 橋	0.69	0.033
黒	瀬 川	石 田 橋	0.78	0.064
高	橋 川	堀 切 橋	0.38	0.037
吉	田 川	吉 田 橋	0.85	0.043
黒	部 川	下 黒 部 橋	0.23	0.010
入	川	末 端	0.41	0.028
小	川	赤 川 橋	0.41	0.014
		上 朝 日 橋	0.64	0.016
	舟 川	舟 川 橋	0.40	0.016
木	流 川	末 端	0.68	0.054
笹	川	笹 川 橋	0.50	0.015
境	川	境 橋	0.63	0.010
桂湖（境川ダム貯水池）		え ん 堤 付 近	0.31	0.004
		湖 中 央	0.32	0.003
有峰湖（有峰ダム貯水池）		え ん 堤 付 近	0.18	0.005
		湖 中 央	0.15	0.004
黒部湖（黒部ダム貯水池）		え ん 堤 付 近	0.17	0.004
		湖 中 央	0.17	0.005
富 山 新 港 海 域		富 山 新 港 No 1	0.36	0.033
		富 山 新 港 No 2	0.50	0.046
		富 山 新 港 No 3	0.42	0.051
		富 山 新 港 No 4	0.54	0.068
	第 一 貯 木 場	姫 野 橋	0.58	0.074
	中 野 整 理 場	中 央	0.65	0.070
富山湾	小 矢 部 川 河 口 海 域	小 矢 部 川 河 口 海 域 No 2	0.24	0.013
		小 矢 部 川 河 口 海 域 No 3	0.28	0.015
		小 矢 部 川 河 口 海 域 No 5	0.18	0.009
		小 矢 部 川 河 口 海 域 No 6	0.19	0.010
	神 通 川 河 口 海 域	神 通 川 河 口 海 域 No 1	0.22	0.010
		神 通 川 河 口 海 域 No 2	0.32	0.012
		神 通 川 河 口 海 域 No 3	0.23	0.011
		神 通 川 河 口 海 域 No 4	0.20	0.011
		神 通 川 河 口 海 域 No 5	0.24	0.012
		神 通 川 河 口 海 域 No 6	0.19	0.011

水 域 名		調 査 地 点 名	全 窒 素	全 り ん
富山湾 富 山 湾 海 域	そ の 他	小矢部川河口海域 No.7	0.17	0.009
		神通川河口海域 No.7	0.22	0.010
		その他地先海域 No.1	0.15	0.007
		その他地先海域 No.2	0.17	0.009
		その他地先海域 No.3	0.16	0.008
		その他地先海域 No.4	0.17	0.010
		その他地先海域 No.5	0.19	0.007
		その他地先海域 No.6	0.19	0.009
		その他地先海域 No.7	0.16	0.007
		その他地先海域 No.8	0.16	0.007
		その他地先海域 No.9	0.14	0.006
		その他地先海域 No.10	0.13	0.007

注 測定値は、年平均値です。

表2-66 河川における要監視項目測定結果 (23年度)

(単位 : mg / L)

調 査 項 目	調 査 地 点 数	検 出 地 点	測 定 結 果	指 針 値 超 過 地 点 数	指 針 値	定 量 下 限 値
フ ェ ノ ー ル	53	0	ND	0	0.01~0.08	0.001
ホルムアルデヒド	52	1	ND~0.005	0	1	0.003
イソキサチオン	52	0	ND	0	0.008	0.0008
ダイアジノン	52	0	ND	0	0.005	0.0005
フェニトロチオン	52	0	ND	0	0.003	0.0003
クロロタロニル	52	0	ND	0	0.05	0.005
プロピザミド	52	0	ND	0	0.008	0.0008
E P N	52	0	ND	0	0.006	0.0006
ジクロルポス	52	0	ND	0	0.008	0.0008
イプロベンホス	52	0	ND	0	0.008	0.0008
クロルニトロフェン	52	0	ND	0	-	0.0005
ニ ッ ケ ル	52	8	ND~0.020	0	-	0.001
モ リ ブ デ ン	52	4	ND~0.032	0	0.07	0.007
ア ン チ モ ン	52	0	ND	0	0.02	0.002
全 マ ン ガ ン	53	20	ND~0.08	0	0.2	0.02

注 NDとは、定量限界未満です。

表2-67 湖沼水質調査結果（23年度）

(1) 調査対象湖沼

湖 沼 名	所 在 地	有効貯水量 (千 m ³)	湛水面積 (km ²)	主 な 利 水 目 的
五位ダム貯水池	高岡市福岡町五位堀切	8,100	0.57	農業用水
布施川ダム貯水池	黒部市福平	1,000	0.10	洪水調節、消流雪用水

(2) 調査結果

湖 沼 名	調 査 回 数	測 定 項 目							
		透明度 (m)	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	全窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	クロロフィルa (μg/L)
五位ダム貯水池	2	2.9	6.7	2.1	1	8.1	0.38	0.007	8.0
布施川ダム貯水池	2	6.2	6.8	1.1	2	8.9	0.41	0.005	0.3

注 測定値は年平均値です。

表2-68 海水浴場水質調査結果（23年度）

(1) 開設前（5月）

海 水 浴 場	ふん便性 大腸菌群数 (個/100mL)	COD (mg/L)	油 膜 の有無	透明度 (m)	病原性大腸菌 O - 157	判 定
小 境 (氷見市)	2未満	1.1	なし	全透	不検出	水質AA
島 尾 (氷見市)	2未満	1.2	なし	全透	不検出	水質AA
雨晴・松太枝浜 (高岡市)	2未満	1.3	なし	全透	不検出	水質AA
八重津浜 (富山市)	2未満	0.8	なし	全透	不検出	水質AA
岩瀬浜 (富山市)	6	1.0	なし	全透	不検出	水質A
浜黒崎 (富山市)	4	0.9	なし	全透	不検出	水質A
石田浜 (黒部市)	3	1.8	なし	全透	不検出	水質A
宮崎・境海岸 (朝日町)	2未満	1.2	なし	全透	不検出	水質AA

(2) 開設中 (7月)

海水浴場	ふん便性 大腸菌群数 (個/100mL)	COD (mg/L)	油膜 の有無	透明度 (m)	病原性大腸菌 O-157	判定
小 境 (氷見市)	2未満	1.6	なし	全透	不検出	水質A A
島 尾 (氷見市)	2未満	2.2	なし	全透	不検出	水質B
雨晴・松太枝浜 (高岡市)	2未満	2.0	なし	全透	不検出	水質A A
八重津浜 (富山市)	260	1.4	なし	全透	不検出	水質B
岩瀬浜 (富山市)	3	1.3	なし	全透	不検出	水質A
浜黒崎 (富山市)	110	1.4	なし	全透	不検出	水質B
石田浜 (黒部市)	11	2.4	なし	全透	不検出	水質B
宮崎・境海岸 (朝日町)	2未満	1.1	なし	全透	不検出	水質A A

表2-69 底質 (重金属等) 調査結果 (23年度)

区分	水域名	調査地点名	調査結果						
			総水銀 (mg/kg)	カドミウム (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	ひ素 (mg/kg)	総クロム (mg/kg)	強熱減量 (%)	
河	神通川	成子橋	0.02	0.2	39	5.3	ND	4.2	
	宮川	万才橋	ND	ND	3	0.9	ND	1.2	
	高原川	新猪谷橋	ND	0.1	33	4.7	ND	0.7	
	富岩運河	萩浦小橋	6.9	1.0	140	14	280	12	
		下新橋	0.87	3.0	120	10	10	13	
	岩瀬運河	岩瀬橋	7.2	6.7	400	16	200	15	
	住友運河	前川橋	0.08	0.1	35	4.6	10	2.5	
	白岩川	東西橋	0.02	ND	6	1.5	ND	1.2	
	黒瀬川	石田橋	1.0	2.7	37	3.2	34	9.3	
	黒部川	下黒部橋	ND	0.2	8	2.3	140	1.5	
	小川	赤川	赤川橋	0.02	0.1	7	2.2	43	1.8
			上朝日橋	0.02	0.2	12	3.4	38	2.1
		舟川	舟川橋	0.07	0.1	7	1.7	42	1.3
	木流川	末端	0.02	0.3	33	2.7	59	3.4	
笹川	笹川橋	0.05	0.2	11	2.8	25	2.7		
境川	境川橋	0.02	0.2	13	3.9	84	2.5		
港湾	富山新港	港口	0.02	0.1	22	3.6	ND	1.3	
		港央	0.18	0.4	60	9.1	10	5.2	
		港奥	1.3	0.7	200	14	50	5.4	
定量下限値			0.01	0.1	1	0.5	10	—	

注 NDとは、定量下限値未満です。

表2-70 立山環境調査（河川等環境調査）結果（23年度）

区分	名 称	pH	BOD (mg / L)	SS (mg / L)
称名滝上流	み くり が 池	5.0	1.4	1未満
	雷 鳥 沢	6.7	0.5未満	1未満
	紺谷川合流点下流	5.8	0.5未満	1未満
	大 谷 上 流	7.0	0.5未満	1未満
	一 の 谷	6.5	0.5未満	1未満
	ハ ン ノ キ 谷	5.9	0.5未満	1未満
称名滝下流	常願寺川瓶岩橋	6.7	0.5未満	1

注 1 BOD欄中、「みくりが池」はCODの値です。
 2 「紺谷川合流点下流」は、地獄谷からの流水の影響を受けています。

表2-71 水生生物調査結果（23年度）

河川名	調査地点名	水質階級	調 査 団 体 名
山 田 川	南砺市上原	I	親子わんぱく自然教室
千 谷 川	南砺市北市	I	
	南砺市北市	II	
勸 行 寺 川	南砺市高瀬	II	
田 川 谷 内 川	小矢部市田川	I	
小 矢 部 川	高岡市福岡町土屋	I	
庄 川 支 流	南砺市平	I	
布 施 川	黒部市釈迦堂	I	黒部市立東布施小学校
い た ち 川	どんどこ公園	III	富山市立中央小学校
計	8河川	9地点	3団体、のべ437人

注 水質階級の判定と主な指標生物は以下のとおりです。
 I（きれいな水）：ウズムシ類、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類
 II（少しきたない水）：ヒラタドROMシ類等
 III（きたない水）：サホコカゲロウ、ヒル類等
 IV（大変きたない水）：セスジユスリカ、イトミミズ類等

図2-2 騒音・振動苦情の発生源別推移

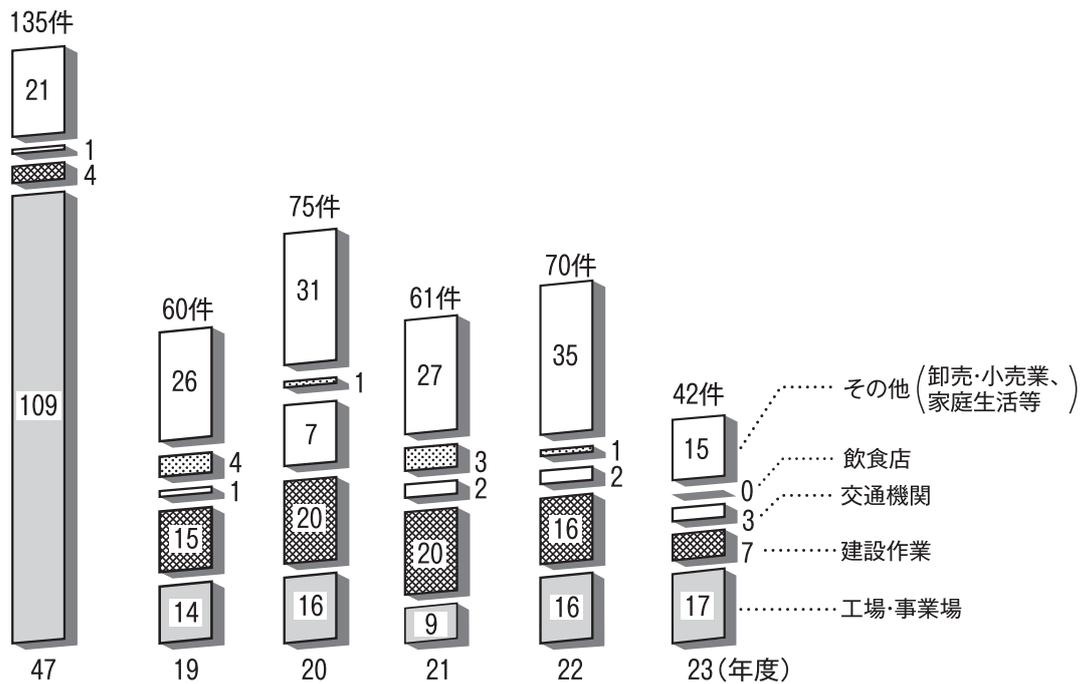


図2-3 一般地域の環境騒音の環境基準達成状況(23年度)



注 () 内の数値は、評価地点数に対する割合で、四捨五入により、合計が100%とならない場合があります。

表2-72 自動車騒音の環境基準達成状況

(1) 自動車騒音の環境基準達成状況（23年度）

道路種別 (道路に面する地域)	調査 区 間 数	評 価 対 象 戸 数	達成区間数	達 成 戸 数	環境基準達成率(%)
国 道	6	1,394	1	954	68
県 道	7	1,461	4	1,437	98
市 道	1	27	1	27	100
計	14	2,882	6	2,418	84

- 注 1 調査区間数とは、面的評価を行った区間数です。
 2 評価対象戸数とは、調査区間における住居等の戸数です。
 3 達成区間数とは、調査区間における住居等の全てが昼間（6時～22時）及び夜間（22時～翌日6時）ともに環境基準を達成している区間の数です。
 4 達成戸数とは、評価対象戸数のうち昼間及び夜間ともに環境基準を達成している住居等数です。

(2) 自動車騒音の環境基準達成率の経年変化

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
達成区間数/調査区間数	3/19(16)	8/21 (38)	5/17 (29)	9/14 (64)	6/14(43)
達成戸数/評価対象戸数	5,014/5,464 (92)	5,399/5,936 (91)	8,052/8,170 (99)	4,125/4,199 (98)	2,418/2,882 (84)

注 () 内の数値は、調査区間数、評価対象戸数に対する達成数の割合で、単位は%です。

表2-73 道路に面する地域の環境騒音調査結果（23年度）

(単位：dB)

環境基準の 地域の類型	測定地点数	平 均		昼 間 (6時～22時)	夜 間 (22時～6時)
		昼間	夜間		
A	6	58	52	37～70	40～63
B	18	64	56	55～72	40～67
C	45	66	60	45～75	41～72
その他	21	61	58	48～74	42～69

注 騒音の測定は、県、8市町が91地点で実施しました。

表2-74 航空機騒音の年度別推移

(単位：WECPNL)

調査地点名	調査時期	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
富山市萩	春季	69	70	68	69	66
	夏季	71	70	69	70	68
	秋季	70	71	69	70	68
	冬季	67	68	69	68	68
	年間	69	70	69	69	68
富山市塚	春季	68	69	69	69	68
	夏季	68	68	68	69	68
	秋季	68	71	67	70	67
	冬季	66	68	69	68	70
	年間	68	69	68	69	68
富山市新保	春季	67	65	69	69	65
	夏季	66	67	65	64	62
	秋季	68	64	67	64	64
	冬季	69	67	66	65	63
	年間	67	66	67	66	64
富山市中島萩	春季	72	70	69	70	70
	夏季	71	71	68	68	70
	秋季	73	71	70	68	69
	冬季	73	68	67	67	67
	年間	72	70	69	69	69
環境基準	類型Ⅱ（75以下）					

注1 騒音調査は各調査時期においてそれぞれ7日間連続測定しました。
 2 環境基準との評価は、年間値で行います。

表2-75 騒音規制法に基づく特定施設の届出状況

(24年3月31日現在)

市 町	工場・事業場数	金属加工機械	空気圧縮機等	土石用破碎機等	織機	建設用資材製造機械	穀物用製粉機	木材加工機械	抄紙機	印刷機	射出成形樹脂用機	鑄造型機	計
富山市	606	877	2,924	186	0	19	2	214	2	462	174	2	4,862
高岡市	459	715	1,622	73	645	7	0	253	2	112	107	92	3,628
魚津市	44	23	165	20	0	0	0	25	0	18	20	0	271
氷見市	34	108	92	25	20	7	0	4	0	5	1	8	270
滑川市	24	121	214	29	0	1	0	9	0	15	8	0	397
黒部市	32	818	560	12	524	0	0	14	0	37	423	591	2,979
砺波市	79	66	228	21	227	7	0	45	0	12	108	0	714
小矢部市	49	33	33	9	32	3	24	26	2	25	41	0	228
南砺市	103	105	357	0	455	0	1	124	0	24	51	0	1,117
射水市	125	275	990	75	286	17	1	198	0	21	18	0	1,881
上市町	20	2	134	1	1,435	1	1	5	0	3	68	0	1,650
立山町	23	39	101	4	0	0	0	4	4	6	1	0	159
入善町	21	114	134	10	113	0	0	0	7	0	1	6	385
朝日町	8	4	42	0	0	0	0	2	0	3	2	0	53
計	1,627	3,300	7,596	465	3,737	62	29	923	17	743	1,023	699	18,594

表2-76 公害防止条例に基づく騒音の届出工場・事業場の状況

(24年3月31日現在)

市 町 村	工場・事業場数	市 町 村	工場・事業場数
富山市	607	南砺市	297
高岡市	424	射水市	113
魚津市	83	舟橋村	5
氷見市	111	上市町	58
滑川市	148	立山町	57
黒部市	143	入善町	49
砺波市	95	朝日町	30
小矢部市	147	計	2,367

表2-77 騒音関係立入検査状況（23年度）

業種 区分	食料品製造業	パルプ・紙・紙加工製造業	化学工業	鉄鋼業	非鉄金属製造業	金属製品製造業	一般機械器具製造業	電子部品・デバイス製品製造業	電気業	廃棄物処理業	その他	合計
立入検査件数	1	5	16	6	5	2	3	5	1	0	14	58

注1 件数は延べ件数です。

表2-78 道路交通振動の調査結果（23年度）

区域区分	測定地点数	昼間(dB) (8時~19時)	夜間(dB) (19時~翌日8時)
第1種区域 第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域	18	18~50 (65)	14~40 (60)
第2種区域 近隣商業地域、商業地域、準工業地域	28	27~54 (70)	21~51 (65)
上記の区域以外	16	21~54	16~52

注1 ()は、道路管理者又は公安委員会に対する要請限度です。
 2 区域区分の地域は、都市計画法第8条第1項第1号に掲げる用途地域です。

表2-79 振動規制法に基づく特定施設の届出状況

(24年3月31日現在)

市 町	工場・事業場数	金属加工機械	圧縮機	土石用破碎機等	織機	ブロックマシント等	木材加工機械	印刷機械	ロール機	合射出樹成脂形用機	鋳造型機	計
富山市	345	866	818	208	0	10	24	184	1	155	5	2,271
高岡市	307	873	762	74	539	11	34	31	0	103	93	2,520
魚津市	17	29	84	5	0	0	3	0	0	10	0	131
氷見市	9	11	18	19	20	0	0	0	0	3	3	74
滑川市	15	100	147	26	0	0	3	15	0	13	0	304
黒部市	16	257	76	28	69	0	3	15	30	144	0	622
砺波市	21	15	29	1	168	0	10	20	0	94	0	337
小矢部市	23	33	7	0	38	6	5	5	2	32	0	128
南砺市	32	17	76	0	455	0	6	2	0	31	0	587
射水市	56	61	72	62	0	0	30	3	0	16	0	244
上市町	13	0	54	0	1,453	0	0	0	0	38	0	1,545
立山町	18	15	51	1	0	0	0	2	0	4	0	73
入善町	13	8	47	2	113	0	0	1	0	0	3	174
朝日町	5	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	12
計	890	2,288	2,244	426	2,855	27	121	281	33	643	104	9,022

表2-80 振動関係立入検査状況（23年度）

業 種	飲料・たばこ・飼料製造業	パルプ・紙・紙加工品製造業	化学工業	鉄鋼業	非鉄金属製品製造業	金属製品製造業	一般機械器具製造業	電子部品・デバイス製品製造業	合 計
立入検査件数	3	3	0	4	5	0	3	4	22

表2-81 公害防止条例に基づく悪臭の届出工場・事業場の概要
(24年3月31日現在)

市 町 村	工場・事業場数	市 町 村	工場・事業場数
富山市	156	南砺市	77
高岡市	31	射水市	5
魚津市	30	舟橋村	3
氷見市	36	上市町	35
滑川市	18	立山町	82
黒部市	104	入善町	24
砺波市	34	朝日町	3
小矢部市	65	計	703

表2-82 畜産業の悪臭実態調査結果 (23年度)

業 種		畜産業(養豚場等)	
工場・事業場数		4	
測 定 場 所		風下敷地境界	風上敷地境界
特定悪臭物質	アンモニア	0.1~0.4	0.1~0.5
	硫化水素	ND~0.012	ND~0.007
	プロピオン酸	ND	ND
	ノルマル酪酸	ND~0.0002	ND
単 位		volppm	

注 NDとは、定量限界(アンモニア0.1ppm、硫化水素0.001ppm、プロピオン酸0.0005ppm、ノルマル酪酸0.0002ppm)未満です。

表2-83 畜産環境保全実態調査結果

(23年度)

畜種	区分	調査戸数	主 な 処 理 施 設					
			天日乾燥	火力乾燥	堆積発酵	強制発酵	浄化处理	その他
乳用牛		60	—	—	86	10	—	10
肉用牛		57	—	—	56	3	—	1
豚		27	—	—	35	4	18	—
鶏		23	1	—	22	9	—	3
計		167	1	—	199	26	18	14

表2-84 畜産農家の巡回指導等の実施状況（23年度）

（単位：件）

区 分	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	計
巡回指導(延)	48	137	24	24	233
水質検査(延)	－	－	10	－	10
悪臭調査(延)	－	－	7	－	7

表2-85 各種助成制度に基づく家畜ふん尿処理施設設置実績（23年度）

区 分	事業名	件数	事業費(千円)
補助事業	畜産担い手育成総合整備事業	0	0

表2-86 公害防止管理者等の選任届出状況

（24年3月31日現在）

区 分	届出状況	
公害防止統括者	228 (73)	
公害防止主任管理者	15 (2)	
大気関係公害防止管理者	第 1 種	39 (1)
	第 2 種	20 (1)
	第 3 種	27 (9)
	第 4 種	46 (16)
水質関係公害防止管理者	第 1 種	51 (4)
	第 2 種	71 (16)
	第 3 種	4 (1)
	第 4 種	29 (12)
粉じん関係公害防止管理者	17 (3)	
騒音関係公害防止管理者	35 (23)	
振動関係公害防止管理者	45 (33)	
ダイオキシン類関係公害防止管理者	12 (2)	
総 数	639 (196)	

注 () は、市町村事務分で、内数です。

表2-87 環境影響評価の実施状況

区分	事業名	事業種類・規模	準備書等	説明会の開催	知事意見の提出	評価書
要	大山カメラア カントリークラブ	レクリエーション施設 (ゴルフ場140.2ha)	準備書提出 3年6月5日	6月15、17、18日	準備書 11月7日	提出 3年11月21日
			準備書縦覧 6月6日～7月6日			縦覧11月22日～12月24日
要	利賀リゾート開発	レクリエーション施設 (スキー場172.3ha) (ゴルフ場198.9ha)	準備書提出 4年7月28日	8月10、11日	準備書 12月28日	提出 5年3月25日
			準備書縦覧 7月29日～8月29日			縦覧3月26日～4月26日
網	富山駅北地区 熱供給事業	熱供給事業 (最大排水量12万m ³ /日)	準備書提出 5年11月11日	11月26、30日	準備書 6年3月31日	提出 6年5月9日
			準備書縦覧 11月12日～12月13日	12月1日		縦覧5月10日～6月10日
網	富山地区広域圏 ごみ処理施設建設 工事	ごみ焼却施設 (焼却能力270t/日/基×3基)	準備書提出 10年6月19日	7月4～17日	準備書 10年11月27日	提出 11年2月23日
			準備書縦覧 6月22日～7月21日	(7回開催)		縦覧2月26日～3月25日
条	高岡地区広域圏 ごみ処理施設整備 事業	ごみ焼却施設 (焼却能力約270t/日)	準備書提出 20年8月21日	9月7、14日	準備書 21年2月27日	提出 21年9月4日
			準備書縦覧 20年8月29日～9月29日			縦覧3月1日～3月31日
法	富山新港火力発電所 石炭1号機リプレー ス計画	火力発電所 (出力40万kW級)	方法書提出 23年7月28日	8月10日	方法書 23年12月13日	-
			方法書縦覧 23年7月29日～8月29日			-

注 「区分」欄について、「要綱」とは「富山県環境影響評価要綱」（2年6月告示、同10月施行、11年12月廃止）、「条例」とは「富山県環境影響評価条例」（11年6月制定、同12月施行）、「法律」とは「環境影響評価法」（9年6月公布、11年6月施行）です。

表2-88 県が企業と締結している公害防止協定

締結企業（工場）	締結企業の業種	締結年月日
三井金属鉱業(株)(神岡鉱業(株))	鉱業	47年3月30日 (61年6月30日承継)
日鉱三日市リサイクル(株) 黒部日鉱ガルバ(株)	産業廃棄物処理 非鉄金属	48年6月23日 (60年3月25日承継) (8年11月1日承継) (9年4月1日承継)
北陸電力(株)	電力	48年8月30日 (54年3月15日改定) (57年7月5日改定) (60年3月25日変更) (63年3月30日変更) (14年2月12日変更) (16年6月29日変更)

表2-89 玄米及び土壤中カドミウム濃度（神通川流域）

（46～51年度調査）

玄米中カドミウム濃度 (ppm)	左 岸		右 岸		全 体	
	点 数	比率(%)	点 数	比率(%)	点 数	比率(%)
0.40 未 満	729	52	860	74	1,589	62
0.40～0.99	523	37	228	20	751	29
1.00～1.99	133	9	65	6	198	8
2.00 以 上	26	2	6	0	32	1
計	1,411	100	1,159	100	2,570	100

土壤中カドミウム濃度 (ppm)	左 岸		右 岸		全 体	
	点 数	比率(%)	点 数	比率(%)	点 数	比率(%)
0.50 未 満	135	16	50	6	185	11
0.50～0.99	447	52	278	34	725	44
1.00～1.99	219	26	281	35	500	30
2.00 以 上	52	6	205	25	257	15
計	853	100	814	100	1,667	100

表2-90 対策地域内の玄米及び土壤中カドミウム濃度（神通川流域）

地域区分	玄 米 中 (ppm)				土 壌 中 (ppm)							
	点数	最高	最低	平均	作 土				次 層 土			
					点数	最高	最低	平均	点数	最高	最低	平均
左岸地域	362	4.23	0.25	1.02	362	4.50	0.46	1.09	203	4.86	0.06	0.64
右岸地域	182	2.74	0.25	0.93	182	4.85	0.47	1.16	101	5.17	0.09	0.82
全 体	544	4.23	0.25	0.99	544	4.85	0.46	1.12	304	5.17	0.06	0.70

表2-91 玄米及び土壤中カドミウム濃度（黒部地域）

（46～48年度調査）

玄米中カドミウム濃度 (ppm)	点 数	比 率 (%)	土壤中カドミウム濃度 (ppm)	点 数	比 率 (%)
0.40 未 満	80	26	2.00 未 満	29	13
0.40～0.99	229	72	2.00～5.99	130	58
1.00～1.99	7	2	6.00～9.99	45	20
2.00 以 上	0	2	10.00 以 上	21	9
計	316	100	計	225	100

表2-92 対策地域内の玄米及び土壌中カドミウム濃度（黒部地域）

地域区分	玄 米 中 (ppm)				土 壌 中 (ppm)							
	点数	最高	最低	平均	作 土				次 層 土			
					点数	最高	最低	平均	点数	最高	最低	平均
黒部地域	44	1.34	0.47	0.79	44	22.60	3.85	7.57	19	3.24	0.14	0.85

表2-93 神通川流域における土地利用区分と面積（実測）

（単位：ha）

計画区分	対策地域の面積			①のうち農用地として利用する面積					①のうち農用地以外として利用する面積
	①農用地(田)	農用地以外	計	事業対象面積			事業対象外面積(砂利採取田)	計	
				田	畑	計			
第1次地区	96.7	11.3	108.0	76.2	0.6	76.8	11.8	88.6	8.1
第2次地区	427.2	53.9	481.1	326.6 292.1	5.9 3.8	332.5 295.9	73.7 80.9	406.2 376.8	21.0 50.4
第3次地区	960.5	94.8	1,055.3	402.0 371.2	5.5 9.5	407.5 380.7	14.3 14.3	421.8 395.0	538.7 565.5
計	1,484.4	160.0	1,644.4	804.8 739.5	12.0 13.9	816.8 753.4	99.8 107.0	916.6 860.4	567.8 624.0

注 第2次地区、第3次地区及び計の上段は当初計画、下段は変更計画です。

表2-94 神通川流域における第1～3次地区の復旧方式等

区 分	第1次地区	第2次地区	第3次地区
復旧方式	区画整理方式	区画整理方式 現状回復方式	区画整理方式 現状回復方式
対策工法	埋込客土工法 上乘せ客土工法	埋込客土工法 上乘せ客土工法	埋込客土工法 上乘せ客土工法
客土母材の採土地	大沢野町*市場地内の山林	大沢野町*市場地内の山林 八尾町*横ノ手地内の山林	八尾町*卯花地内の山林

注 *は現富山市です。

表2-95 公害防止事業に係る費用負担計画の概要（神通川流域）

区 分		第1次地区	第2次地区	第3次地区
告示年月日		55年2月6日第 94号 59年7月28日第 641号	59年1月20日第 42号 3年9月4日第 635号	4年2月3日第 98号 15年6月26日第 365号
公害防止事業の種類		農用地の土壌の特定有害物質による汚染を除去するための客土その他の事業		
費用を負担させる事業者の名称		三井金属鉱業株式会社		
負算 担 定 額 基 及 び 礎	公害防止事業費 ①	1,783,000千円 2,247,436千円	10,940,000千円 9,054,865千円	19,291,900千円 24,232,000千円
	汚 染 寄 与 度 ②	0.527 0.5908	0.5908	0.5908
	概 定 割 合 ③	2/3	2/3	2/3
	負 担 率 ②×③	0.3513 0.3939	0.3939	0.3939
	負 担 総 額 ①×②×③	626,368千円 885,265千円	4,309,266千円 3,566,711千円	7,599,079千円 9,544,984千円
そ の 他		物価等の変動により、事業費に変更が生じたときは、変更後の事業費に上記の負担率を乗じて得た額を負担総額とします。		

注 告示年月日、負担総額及び算定基礎の上段は当初計画、下段は変更計画です。

表2-96 神通川流域における公特事業の計画面積

(単位：ha)

区 分	全 体	内 訳		
		指定地域	隣接地域	併せ地域
第1次地区	91.2	73.4	6.2	11.6
第2次地区	441.5 371.7	332.5 295.9	16.5 9.8	92.5 66.0
第3次地区	436.9 396.3	394.5 378.3	22.0 3.4	20.4 14.6
計	969.6	800.4	44.7	124.5
	859.2	746.6	19.4	92.2

注 第2次地区、第3次地区及び計の上段は当初計画、下段は変更計画です。

表2-97 神通川流域における23年度に作付可能な面積

(単位：ha)

区 分	田		畑		合 計
	客 土	非客土	客 土	非客土	
第1次地区	75.8	13.2	1.2	—	90.2
第2次地区	279.9	72.5	3.9	0.3	356.6
第3次地区	376.7	11.3	15.9	—	403.9
計	732.3	97.0	21.1	0.3	850.8

表2-98 黒部地域における土地利用区分と面積（実測）

（単位：ha）

市名	対策地域の面積				①、②のうち農用地として利用する面積						①②のうち農用地以外として利用する面積
	①農用地（田）	②農用地（畑）	農用地以外	計	左のうち事業対象面積						
					田	畑	計	田	畑	計	
黒部市	115.8	0.2	16.1	132.1	44.0	0.2	44.2	44.0	—	44.0	71.8
					40.5	0.2	40.7	40.5	—	40.5	75.3
					57.6	0.8	58.4	57.6	0.6	58.2	57.6

注 上段は当初計画、中段は8年の変更計画、下段は20年の変更計画です。

表2-99 黒部地域における対策地域の復旧方式等

区分	黒部地域
復旧方式	現状回復方式（一部未整備地域は区画整理方式）
対策工法	排土客土工法
客土母材の採土地	黒部市田畑地内の山林

表2-100 公害防止事業に係る費用負担計画の概要（黒部地域）

告示年月日	3年11月19日第798号 8年9月30日第624号 20年3月28日第162号	
公害防止事業の種類	農用地の土壌の特定有害物質による汚染を防除するための客土その他の事業	
費用を負担させる事業者の名称	J×日鉱日石金属株式会社	
負担算	公害防止事業費 ①	2,936,000千円 4,005,700千円 5,307,927千円
	汚染寄与度 ②	1
総定額基及礎	概定割合 ③	2/3
	負担率 ②×③	0.6667
及礎	負担総額 ①×②×③	1,957,431千円 2,670,600千円 3,538,794千円
	その他	物価等の変動により、事業費に変更が生じたときは、変更後の事業費に上記の負担率を乗じて得た額を負担総額とします。

注 告示年月日、負担総額及び算定基礎の上段は当初計画、中段は8年の変更計画、下段は20年の変更計画です。